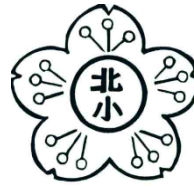


# 北小物語2018



平成30年 9月25日  
平戸市立田平北小学校  
学校便りNo. (45)  
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いっしょ』『いっしょ』『いっしょ』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第45話：「秋・学校を飛び出す『北っ子の学び』～特色ある校外学習！～」の巻 ☆☆☆



## 学校を飛び出す「学び」

北小、秋の「校外学習」ただ今、展開中！

「秋分の日」を過ぎ、瓊川のほとりの丘も秋色に染まりつつあります。日常の教室での机上の学びも大切ですが、このような季節は、学校を飛び出し、地域にある貴重な資源を教材として学ぶ「校外学習」が、「体験」をキーワードとして、児童の学習にたいへん効果的となります。田平北小学校では、この秋、各学年が教育課程に応じた「校外学習」を仕組み、学校の外へと飛び出します。この校外学習を支えるのが、平戸市が統合した学校の児童の通学手段として所有する「通学バス」です。本校でも、このバスを有効利用し、学校から地域の学びの場へと瞬時に移動します。21日（金）も、1年生の子どもたちが、北松農業高校へ生活科校外学習「ふれあい動物園」に出かけました。☆☆



当日は、雨が降ったりやんだりのあいにくの天気でしたが、高校生のお兄さん・お姉さんが、飼育している動物たちを屋根がある大きなガレージ広場に集め、臨時の「ミニ動物園」を開園してくれました。ヤギにミニブタ、犬にハムスター、テグーに珍種ウーパールーパー・・・と子どもたちは大喜びでした。愛くるしい姿で子どもたちの手に乗っているのがテグーといわれるネズミの仲間です。エサやり体験もすることができ、子どもたちは時間いっぱい、思う存分に動物たちとふれあうことができました。

かわいい動物とふれあった後は、きちんと手を洗って、動物スケッチです。仲良くなったお気に入りの動物の絵を思い思いに描き、北松農業高校での学びを終えました。この校外学習は、「動物とふれあおう」という生活科の学びだけでなく、自分たちの学校の近くに高校があって、そこで農業や生き物を相手に学び、夢を追う先輩の姿を見ることができたのも大きな収穫でした。この体験学習がきっかけとなって、地元「北農」への憧れを抱いた子どもたちです。

さて、1年生は、このような校外学習に出かけましたが、他の学年も地域の貴重な資源を教材とする校外学習：学校を飛び出す「学び」を計画しています。



2年生：田平町のまち探検「お店探検」 3年生：スーパーマーケット見学、平戸おくんち見学  
4年生：北松クリーンセンター見学、高齢者とのふれあい 5年生：永田地区でのお米作り体験

そして、小学校6年間の最大の校外学習といえば・・・そうです！  
6年生の修学旅行です。今週の27日・28日、佐賀・長崎の旅へ

## いってきます！

